

## 全市シンポジウム

「希望のシナリオ」～これからの地域づくりを考える～ アンケート集計(回答者 64 名)

## 1 性別

性別	人数
男性	28
女性	35
無回答	1

## 2 年代

年代	人数
10代	0
20代	5
30代	5
40代	8
50代	16
60代	16
70代	13
80代以上	1

## 3 参加区

参加区	人数
川崎区	2
幸区	7
中原区	10
高津区	10
宮前区	12
多摩区	7
麻生区	9
無回答	7

## 4 活動エリア(複数回答可)

活動エリア	人数
川崎区	7
幸区	15
中原区	23
高津区	18
宮前区	19
多摩区	14
麻生区	16
川崎市外	8

## 5 満足度

満足度	人数
大変良かった	16
良かった	35
普通	5
あまり良くなかった	5
良くなかった	0
無回答	3

約 8 割の方が「大変良かった」  
「良かった」との感想

## 6 本日のワークショップで期待していたもの(複数回答可)

項目	人数
参加者同士の新たなつながり	24
他の参加者の活動情報を得ること	14
今後の活動の参考になる情報	27
グループワーク等で様々な考え方に触れること	24
コミュニティ施策における本市の方向性を知ること	48
その他 [・行政の本気度 ・どのように考えているか知り、意見を伝えることができる機会]	2

## 7 感想、言い足りなかったこと、今後の関連するワークショップに向けた意見、自由記載等(主な意見)

- ・「新たなしくみ」づくりや、職員の意識改革やチャレンジ、一緒に作り上げていくことに期待する。(他 11 名)
- ・素案の内容も分かり、それに対する様々な意見に触れられ、とても勉強になった。(他 8 名)
- ・グループワークの時間が足りなかった。また、他区の方と意見交換を期待していた。(他 6 名)
- ・これからもこのような場や区でもワークショップなどを開催してもらいたい。(他 4 名)

- ・この場に参加していない方への周知や、情報提供を工夫してもらいたい。(他4名)
- ・自分のやりたい活動とのマッチングは今後の課題ではあるが、希望の持てる内容でした。
- ・ソーシャルデザインセンター構想はおもしろそうだと思いますので、そういう構想があることを市民に知らせることが大事だと思います。早い段階で市民が主導権を握れる形をつくっていかないとつまらないものになってしまいそうで心配です。
- ・公的な区民会議に替わる世代間交流のできる場が欲しいです。
- ・今日のような集いに来る意識のある人でない多くの市民の声を拾う(アイデア・ニーズ)しぐみがあると良いと思いました。
- ・最低でも各区にソーシャルデザインセンター的なものが必要だと思います。「やまゆり」や他都市での参考事例を知りたいです(特に資金面)。
- ・家開き、町内会・自治会、地域の活性化、できることに取り組んでいきたい。
- ・これに伴って条例も変えるのか気になりました。川崎の自治基本条例は自慢です!
- ・500円会費の交流会を設けられて、良いアイデアである。
- ・区民会議やまちづくり協議会が現在果たしている機能を明らかにして、具体的にそれを新しい体制でどこが担っていくのかが見えず、無くしてよいのか判断できません。
- ・過去30年来、いろいろな行政施策を見てきましたが、プランを作る人と実行する人が違って、市民が見るともどかしいことがたくさんある(行政職員は2~3年で異動し、引継ぎがあまりできていない)。市民をその気にさせる熱意がどんどん薄れていく気がする。
- ・ソーシャルデザインセンターを誰がどのようにつくるのかがよく分からない。
- ・ソーシャルデザインセンターのコンセプトとしては期待する部分もあるが、地域に閉じた活動で、結局地域包括ケアシステムのスコープに留まってしまっている感じがして、非常に残念に感じた。このままでは若手や現役世代が参加するような活動にはならず、これまでと状況は大きく変わらないのでは。この会議に参加するメンバーは既に何かしらの活動をしており、今参加していない人を呼び込む施策を考えられないと思う。ビジネスから遠い方々が多いので、資金のやりくりができるような事業化を検討するのも難しいだろう。
- ・このシンポジウムの参加者を世代別人口比とするべき。この場にあまり参加していない世代の意見が反映されず、さらに自分のことと考えられず、負のサイクルとなる。
- ・新たなプラットフォームとはどういうものか。私たちはどういうもの(形)を望んでいるのか考えてみたかった。
- ・「ひろば」(例えば、身近な公園・緑地を)にしたいと思っても、支援と協働がなかなかないのも現状です。道のりは遠く続きますね。
- ・既にある地域の取組、人材、しぐみ、施設、様々な機関との関係とネットワークを壊すことなく、すべてがwin-winな形になるようなハブ的なしぐみをつくれば、大きなムーブメントになると思います。今後も理解と信頼を広げ、ぜひ実現して欲しいですし、関わっていきたいです。
- ・市民文化局(町内会・自治会)と地ケア(地域みまもり支援センター)、まちづくり・地域づくりと地域福祉は一緒に考えるべきだと思います(地域共生社会)。
- ・機能・役割別ではなく、大・中・小と地域を俯瞰する機能・視座視点を持ってください。これこそが行政が変えるべき点だと思います。
- ・「ソーシャルデザインセンター」とありましたが、デザインするのではなく、「コーディネート」「アドバイス」「コンサルティング」ということかと思います。
- ・町内会・自治会長の気持ちに温度差があるので、腰を上げていただくためにどうしたら良いか。